

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center for Michigan Universities

No. 56
2013 夏

“Domestic Study Abroad” at JCMU-Michigan Center

Marilyn Schlieff

JCMU English language program coordinator

Kokunai Ryugaku is a two-week, intensive English program offered by the Japan Center for Michigan Universities (JCMU, also known as the *Michigan Center*) in Hikone, Shiga on the eastern shore of Lake Biwa. This program is designed for Japanese university students to attend English classes with native speaking instructors and share a dormitory room with an American roommate who is studying Japanese.

Kokunai Ryugaku provides affordable opportunities to study English with native students and instructors every September and February/March. Instructors use materials, activities and methodologies based on TESOL research. The course offers twenty hours per week of classroom instruction, as well as extra curricular activities with native English-speaking students and staff.

The main benefit for a Japanese student looking for English language programs within Japan is living with the group of American students and faculty in the dormitory apartments at *JCMU-Michigan Center*. A consortium of fifteen four-year public universities in Michigan, Shiga's sister state, is responsible for administration of the Center.

Each dorm apartment has two bedrooms, kitchen, and bathroom with tub and shower. There is a library, computer room, TV room, and laundry facilities. Bicycles and helmets are available for all students.

More information about *Kokunai Ryugaku* is posted on the JCMU web site at: <http://www.jcmu.net>

JCMU・ミシガンセンターでの“国内留学”

マリリン・シュライフ

JCMU英語プログラム主任教官

国内留学は、2週間集中の英語プログラムで、琵琶湖の東岸に位置する滋賀県彦根市にあるミシガン州立大学連合日本センター（JCMU：ミシガンセンターとしても知られています。）により実施されています。このプログラムは、日本の大学生を対象にネイティブスピーカーの講師による講座と、日本語を学ぶアメリカ人とルームメイトとして、寮に住むことがセットされています。

この国内留学は、9月と2月～3月にネイティブの学生と講師とともに英語を手頃な価格で学ぶ機会を提供するものです。講師は、英語を母語としない人に英語を教える教授法に基づく教材、活動、講義手法を導入しています。講座は週20時間ですが、この他にネイティブの学生とスタッフとの課外活動もあります。



2013年2月国内留学参加者とJCMUの留学生達

日本国内での英語プログラムを探している学生にとって、この国内留学が有益であるのは、JCMU-ミシガンセンターの寮に滞在しているアメリカの大学の学生達と講師陣と共に生活することです。滋賀県との姉妹都市であるミシガン州の4年生の15の公立大学のコンソーシアムが、ミシガンセンターの運営に携わっています。

寮の各部屋には、2つのベッドルームと、キッチン、



プライベートが確保されたベッドルームと共用のキッチン

バスタブとシャワーを備えたバスルームがあります。また、JCMUには図書室、コンピュータールーム、テレビルーム、ランドリー施設があります。自転車とヘルメットの利用も可能です。

国内留学に関する更なる情報は、JCMUのホームページ (<http://www.jcmu.net>) をご覧ください。

JCMU週末ホームステイ

JCMUでは、留学生を対象にして、日本の家庭に滞在しながら当センターに通学する「長期ホームステイ」と、週末だけを日本の家族と一緒に過ごす「週末ホームステイ」という、2つのホームステイプログラムを実施しています。

この度、今年3月1日（金）～3日（日）までの週末ホームステイに参加した留学生14名全員のアンケート（英語で記載）をとりまとめましたので、ご紹介します。

ホームステイは、学生達にとって日本での大変貴重な体験です。受け入れていただいているホストファミリーの皆様、ありがとうございます。

Q1. ホストファミリーと、どのように過ごしましたか？

- 話をしながら、食事をした。
- 子どもたちと遊んだ。
- 料理を作った。
- テレビを観た。
- ゲーム・インターネットをした。
- 買い物に行った。
- 銭湯に行った。
- 外食をした。
- カラオケに行った。
- 近隣（市内等）を観光した。
- 神社、寺を訪れた。
- 遊園地・公園・ロープウェイで山頂へ行った。
- 文化体験（陶芸・お茶会）をした。
- 地域のイベント展示場・美術館・博物館・忍者村等を訪れた。
- 日本の歌を習った。
- スペイン語を教えてもらった。

Q2. ホームステイで一番印象深かった事は何ですか？

- ホストファミリーがとても良い方々であった事に感動しました。見知らぬ私を家族のように迎えてくれました。
- 忍者村へ行ったことが印象的でした。歴史と独特な建物に興味を持ちました。
- 家族の中で子ども達が一番英語を知っていました。
- 自分が想像していた以上に、すぐにホストファミリーが家族の一員として迎え入れてくれました。
- ホストマザーが食事を毎回一生懸命作ってくれたことが一番感激しました。
- 一番印象深かったことは食事。とても美味しく、食べたことのない物も食べることが出来ました。また家族はみんなとても親切で、自分が日本語が出てこない時も辛抱強く私と話をしてくれたり、いろいろな事をさせてくれました。
- ホストファミリーが歓迎して家に迎え入れてくれたので、とても居心地良かったです。
- ホストファミリーの家がとても新しく、さらに特別な行事のために使う和室があったり、またすべてがハイテクだったことが印象深かったです。
- ホームステイでは厳しい日程に従わなければならない、料理や外出も許されないと考えていましたが、とても自由にさせてもらいました。
- ホストファミリーが私を家族の一員として扱ってくれて、ホームステイ期間をどのように過ごすかを一緒に考えた事が一番印象的でした。我が家のように感じました。
- 子ども達を含めホストファミリーが、私が理解しているかを常に気使ってくれ、また礼儀正しく、親切でした。
- ホストファミリーがとても寛大で良い方だったことです。また自分は家族と会話することが好きだったので、おしゃべりをしたり、日本語を使えて楽しかったです。
- ホストファミリーのエネルギーと素晴らしさが印象的でした。皆さんとても良い方々で、時々わからないことがあったら、助けてくれました。
- JCMUで学び、勉強したので、ホームステイの中で日本語を話す力がついたと感じられました。

Q3. ホームステイで何か困ったことなどはありましたか？

- 日本の布団が少しだけ心地悪かったです。
 - 言葉（英語と日本語）のコミュニケーションで少し戸惑いました。
 - ホームステイの間に体調を崩してしまいましたが、家族からはとても親切にしてもらいました。
 - 私が物静かで、緊張していたこともありシャイだったことと、ホストファミリーが忙しかったことで、コミュニケーションをとる機会があまり取れなかったです。
- ※上記回答以外は、困ったことは何もなかったと回答。

Q4. ホームステイの中で感じた事や、学んだことを聞かせて下さい。

- 日本の家族がどのように機能しているかをよく知る事ができました。とても素晴らしい文化体験・言語体験でした。
- ホストマザーが日本語手話通訳者でしたので、私の名前の手話を教えてくれました。私は家族にとっても歓迎されていると感じました。
- ホストファミリーの家がとてもキレイに保たれていて驚きました。
- 日本の家族について、また日本の子ども達が英語学習についてどのように感じているかを学ぶ事が出来ました。
- まず、関西弁をたくさん学びました。また日本の家族の内側を知れたことは、私の人生の中で一回限りの忘れられない最高の経験の一つでした。日本の子ども達は最高です。
- 日本のファミリーライフ、また何故そのように生活するのかについて、たくさん学びました。私にとって、ホームステイをしている間、どのように家族の一員になるかが一番重要なことでしたが、家族として受け入れられ、歓迎されていると心から感じられましたし、私は家族との時間が大好きでした。
- ホームステイをさせてもらい、本当の日本を全て経験したように感じています。ホームステイでの体験は全く予期していなかった事であったり、自分自身では出来なかった事でした。わずか3日間だけでしたが、普段住んでいる寮を離れホッとしたとともに、真のジャパニーズワールドを楽しむ事が出来ました。
- 体調を崩してしまった事は本当に申し訳なく感じましたが、アメリカとは全く違い、日本の家族がされている事を一緒にできたことは良かったです。日本の方々はとても忙しく、まるでマジシャンの秘密を観ていたようでした。
- 日本語を瞬時に考えなければならなかったり、失敗を恐れず話すことが出来たので、日本語のリスニングとスピーキング力がついたと感じました。また、ホストファミリーは私の日本語を助けてくれましたし、家族から関西弁もたくさん学びました。
- 人がどれだけ親切に、また歓迎できるのかを学びました。ホストファミリーは私に素晴らしいヘルシーな食事の作り方だけでなく、日本語や日本の生活も教えてくれました。私は間違いなく日本語のスピーキングに自信がついたと感じています。もっと、このホームステイを続けたかったです。
- ホームステイをしている間、とても幸せだと感じました。それは、我が家に居るように感じたからです。ホストファミリーは私の母国の話を喜んで聞いてくれましたし、私はホストファミリーの地域や、琵琶湖、また伝統的なゲーム、そして日本の家族の生活について学ぶことが出来て本当に嬉しかったです。
- 家事をしながら、どのようにたくさんの子供たちの面倒を見るかを学びました。家族全員、4歳の子どもでさえも家の手伝いをしていました。また、日本料理の作り方や正しいマナーも学びました。とても興味深い経験でした。
- 日本の文化と日本の家族がどのように生活されているかを、たくさん学びました。もっと長く体験したい興味深い経験でした。
- 最初は緊張しましたが、時間がたつと緊張もなくなりました。いつも日本語を話す時はとても緊張しますが、特にホストファミリーのような優しい、思いやりのある方と話す時はうまく話せると気づきました。



2013年3月ホストファミリー宅にて

oooooooo ホストファミリー募集 oooooooooo

当センターでは、アメリカ・ミシガン州をはじめ全米から来日している留学生の長期ホームステイおよび週末ホームステイのホストファミリーを募集しています。

まずはバンクにご登録いただき、その後留学生の受け入れをお願いしています。

一人でも多くの留学生がホームステイ体験ができるようご協力いただければ幸いです。

詳しくは、ホームページ (<http://www.jcmu.net/host-family/>) をご覧ください。

JCMUの高校向け英語プログラム・国内留学について

経済のグローバル化とともに国際化という大きな社会の流れの中にあって、真に国際感覚に優れた人づくりが求められています。

今後とも、国際教育・交流の拠点としてのJCMUの持つ機能をさらに地域へ還元し、若い人々を中心とする人材育成を図るための取り組みが重要と考えています。

このような取り組みの中で、未来を担う高校生および大学生の国際感覚の涵養に貢献する英語プログラムは大変重要です。

高校向け英語プログラムについては、昨年度までの米原高校、彦根東高校に加え、今年度は新たに滋賀短期大学附属高校と立命館守山高校に受講いただきました。今秋から虎姫高校にも受講いただく予定で、来年度以降も重点的に取り組んでいきます。



米原高校の生徒とJCMU留学生

また、当ニュースレターの冒頭で紹介した国内留学は、日本の大学生がJCMUの宿泊棟で留学生と共同生活をしながら英語を集中的に学ぶもので、実際に海外で留学するための準備講座としても位置付けられます。今後、更にプログラム内容の充実を図り、大学を訪問したり、ホームページ等で広く情報発信するなどして、国際感覚に優れた若者の人材育成に寄与していきたいと考えています。



ルームメイトとともに

JCMU英語プログラム 2013秋季受講生募集!!

<彦根コース>

ミシガン日本センター(彦根市松原町)

9月24日(火)～12月14日(土)

デイトタイム (月～金 10:40～14:40)

夜間マルチスキル (月・木 19:00～20:30)

土曜モーニングマルチスキル(土 9:00～12:10)

週1回からの受講が可能です

<栗東コース>

ウィングプラザ(栗東市緒)

9月24日(火)～12月10日(火)

夜間マルチスキル (火 19:30～21:00)

<南草津コース>

草津市立市民交流プラザ(草津市野路)

9月25日(水)～12月11日(水)

新規 帰国子女クラス1 (水 17:35～18:20)

新規 帰国子女クラス2 (水 18:30～19:15)

夜間TOEIC®講座 (水 19:30～21:00)

申込締切：9月14日(土)

※受講時間数によってはセンター付属寮の宿泊施設に入寮し、アメリカからの留学生とルームメイトになることも可能です。

詳しくは当センターHPまたはパンフレットをご覧ください。

ミシガン州立大学連合日本センター

〒522-0002 滋賀県彦根市松原町網代口1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

URL <http://www.jcmu.net>

■編集・発行 (公財) 滋賀県国際協会 彦根事務所